

売上高100億円目指す

東海理研が中期経営計画

金属製品やセキュリティ商品の開発・製造販売の東海理研(関市武芸川町谷口)は20日、2024年9

月から3年間の中期経営



中期経営計画を発表する佐藤明広社長(左)と岐阜市長良福光(右)が挨拶する。佐藤明広社長は「岐阜市長良福光(右)は20日、2024年9月」

計画を発表し、26年9月期の売上高100億円の目標を掲げた。

岐阜市内で開いた協働会感謝の集いで、佐藤明広社長がインターネットで予約

や決済ができる多機能ロッカー、半導体工場向けの搬

送装置の部品製造と組み立て、顔認証システムやIC

チップを搭載したデジタルキーといったセキュリティ

事業の展望を説明。24年

9月期の売上高約40億円を25年に60億円、26年に100億円に引き上げる目標を打ち出した。

多機能ロッカーは首都圏の鉄道で設置が広がっており、JR各社、私鉄、地下鉄への採用を目指す。国内

外で建設が相次ぐ半導体工場向けの搬送装置は今月、

部品を製造、組み立てる第2工場が完成。セキュリティ

事業もデータセンターなどの需要を見込み、「覚悟が道を拓く」と行動指針

を示した。

社会政策課題研究所の江崎禎英所長が講演したほ

か、第2工場建設を手がけた関市の青協建設、オザキ、土屋電気商会に感謝状が贈られた。